硬筆指定課題 評価の観点

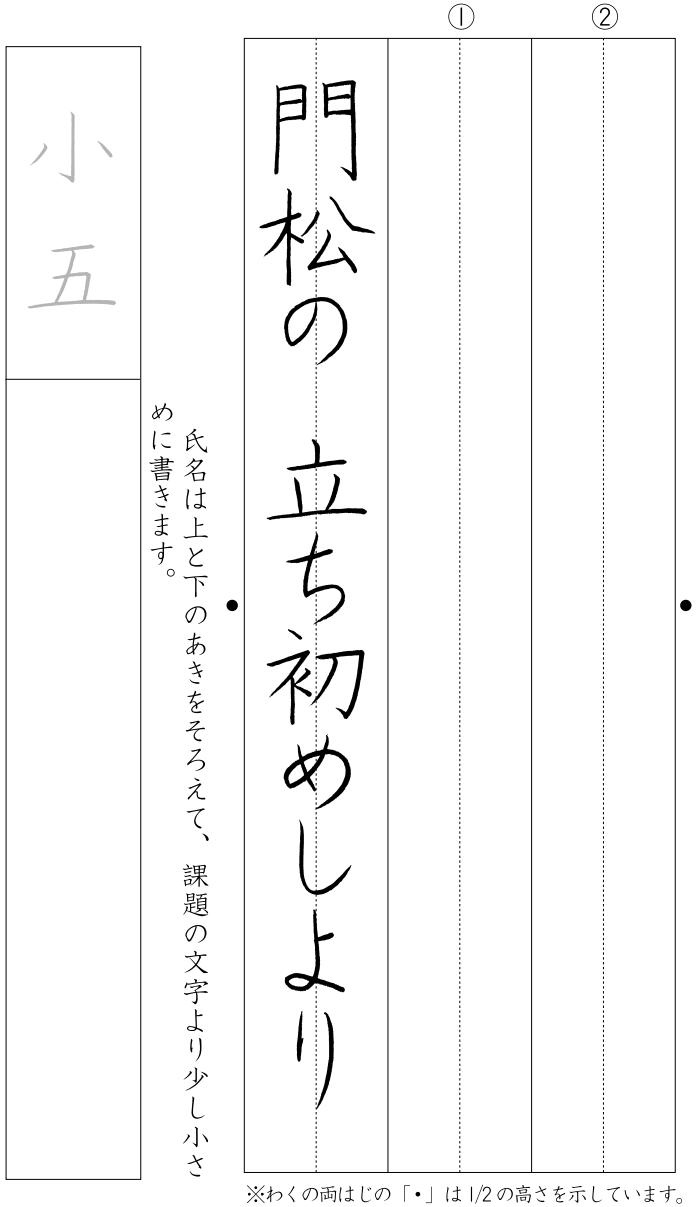
《小5》 大平恵理 書

始めに、姿勢とえんぴつの持ち方を確かめます。

正しく整えて読みやすく書くことが大切です。「止め・はね・はらい、線の長さと方向、あき、折れ、折り返し、曲がり、そり、線と線の接し方と交わり方、一字一字の組み立て方、筆順、筆圧」に気をつけて書きましょう。

手本の文字を見ながら、右のマスに書いてみましょう。

一字一字の外形、文字の大きさや幅、行の中心、配置などを考えて、真っ直ぐ書くようにしましょう。半分の高さで見当をつけ、バランスよく収めるようにします。



氏名は上と下のあきをそろえて、課題の文字より少し小さめに書きます。

※わくの両はじの「•」は1/2の高さを示しています。

第14回全国書写書道総合大会 令和7年度全国硬筆コンクール 主催 一般社団法人日本書字文化協会 共催 公益財団法人文字・活字文化推進機構